



平成28年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年6月14日

東

上場会社名 株式会社フォーシーズホールディングス 上場取引所
 コード番号 3726 URL <http://www.4cs-holdings.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 洲崎 智広 (TEL) 092-720-5460
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室 室長 (氏名) 山戸 明仁

四半期報告書提出予定日 平成28年6月14日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年9月期第2四半期の連結業績 (平成27年10月1日～平成28年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年9月期第2四半期	2,483	185.5	132	—	122	—	40	—
27年9月期第2四半期	869	49.4	△21	—	△22	—	△25	—

(注) 包括利益 28年9月期第2四半期 40百万円(—%) 27年9月期第2四半期 △25百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年9月期第2四半期	5.88	—
27年9月期第2四半期	△3.87	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年9月期第2四半期	3,180	1,202	37.5
27年9月期	2,882	1,162	40.0

(参考) 自己資本 28年9月期第2四半期 1,192百万円 27年9月期 1,152百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年9月期	—	0.00	—	—	—
28年9月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成28年9月期の配当予想につきましては未定です。

3. 平成28年9月期の連結業績予想 (平成27年10月1日～平成28年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,280	80.4	215	147.1	200	159.7	100	222.6	14.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 - ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年9月期2Q	6,973,470株	27年9月期	6,973,470株
② 期末自己株式数	28年9月期2Q	104,970株	27年9月期	104,430株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年9月期2Q	6,868,785株	27年9月期2Q	6,545,111株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想に関する記述は、当社が本資料の発表日現在で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、当社の事業を取り巻く経済情勢、市場動向等に関する様々な要因により、記述されている業績予想とは異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府及び日銀による各種政策を背景に企業収益や雇用環境が改善するなど緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、中国をはじめとする新興国経済の減速、原油価格の下落やマイナス金利の導入など景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況のもと当社グループにおきましては、中長期的な更なる成長に向けて、各事業会社がそれぞれの特性に合わせた積極的な施策を推進してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高2,483,431千円（前年同四半期比185.5%増）となり、営業利益132,907千円（前年同四半期は営業損失21,106千円）、経常利益122,843千円（前年同四半期は経常損失22,283千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益40,362千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失25,347千円）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

①コミュニケーション・セールス事業

コミュニケーション・セールス事業におきましては、従来からの「新規顧客の獲得」と「既存顧客の確保」の視点に加え、新たに立ち上げた（ヘアケア）ブランド「DEAREST（ディアレスト）」による新たな顧客層の取り込みとリピート率の向上を図るための施策に取り組んでまいりました。また、季節に応じた新商品などを導入していく予定であり、積極的なマーケティング活動を行っております。これにより売上高902,533千円、セグメント利益64,451千円となりました。

②化粧品卸事業

前連結会計年度において、当社グループ入りした株式会社Cureが営む化粧品卸事業は、古くなった皮膚の角質を除去するための製品「ナチュラルアクアジェル Cure」及び岩塩を原料とする入浴剤「Cure パスタタイム」の販売を行っており、市場でも高い評価を受け順調に売上を伸ばしております。これにより売上高300,216千円、セグメント利益109,196千円となりました。

③カラーコンタクトレンズ事業

前連結会計年度において、当社グループ入りしたクレイトン・ダイナミクス株式会社及び株式会社プランAが営むカラーコンタクトレンズ事業におきましては、取扱い商品の増加や取引先の増加等もあり順調に売上を伸ばしております。しかし、当第2四半期連結累計期間において一部の取引先に対する売掛金について貸倒引当金繰入額84,469千円を計上いたしました。これにより売上高1,281,180千円、セグメント損失41,624千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は3,180,217千円(前連結会計年度末2,882,345千円)、その内訳は流動資産2,348,736千円、固定資産831,480千円となり、前連結会計年度末に比べ297,872千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の増加248,337千円、売掛金の増加230,342千円、貸倒引当金の増加84,477千円等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は1,978,142千円(前連結会計年度末1,719,391千円)、その内訳は流動負債1,000,756千円、固定負債977,385千円となり、前連結会計年度末に比べ258,751千円増加いたしました。これは主に、買掛金の増加108,868千円、短期借入金の増加120,000千円、未払法人税等の増加44,847千円等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は1,202,074千円(前連結会計年度末1,162,953千円)となり、39,121千円増加いたしました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益40,362千円を計上したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、973,289千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、140,921千円(前年同四半期は12,746千円の使用)となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益123,923千円、減価償却費27,446千円、のれん償却額28,901千円、貸倒引当金の増加84,477千円、仕入債務の増加108,868千円、売上債権の増加230,342千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、6,547千円(前年同四半期は1,349千円の使用)となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出9,445千円、敷金の回収による収入17,470千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、102,228千円(前年同四半期は23,067千円の獲得)となりました。

これは主に、短期借入金の純増減額120,000千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年9月期の連結業績予想につきましては、最近の業績等を勘案し、平成27年11月11日に公表しました業績予想を修正することといたしました。詳細につきましては、平成28年6月14日付「貸倒引当金繰入額の計上及び業績予想と実績との差異並びに通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)
等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額
を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更い
たしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定
による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方
法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更
を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、
四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会
社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載
し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売
却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載する方
法に変更しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び
事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点
から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	975,201	1,223,538
売掛金	589,169	819,512
商品及び製品	234,230	262,387
原材料及び貯蔵品	1,344	4,751
その他	208,405	123,067
貸倒引当金	△43	△84,521
流動資産合計	2,008,307	2,348,736
固定資産		
有形固定資産	22,476	31,864
無形固定資産		
のれん	312,231	283,330
顧客関連資産	437,423	420,269
その他	63,982	58,091
無形固定資産合計	813,636	761,691
投資その他の資産	37,923	37,925
固定資産合計	874,037	831,480
資産合計	2,882,345	3,180,217
負債の部		
流動負債		
買掛金	165,804	274,672
短期借入金	240,000	360,000
1年内返済予定の長期借入金	128,548	135,688
未払法人税等	19,707	64,554
賞与引当金	11,201	10,020
返品調整引当金	1,583	935
株主優待引当金	11,698	872
その他	152,437	154,013
流動負債合計	730,980	1,000,756
固定負債		
長期借入金	970,906	946,517
資産除去債務	11,613	11,635
その他	5,891	19,233
固定負債合計	988,410	977,385
負債合計	1,719,391	1,978,142
純資産の部		
株主資本		
資本金	882,788	882,788
資本剰余金	348,109	348,109
利益剰余金	△49,141	△8,778
自己株式	△29,414	△29,576
株主資本合計	1,152,342	1,192,543
新株予約権	10,611	9,531
純資産合計	1,162,953	1,202,074
負債純資産合計	2,882,345	3,180,217

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)
売上高	869,764	2,483,431
売上原価	209,157	1,414,648
売上総利益	660,607	1,068,782
返品調整引当金戻入額	1,268	1,583
返品調整引当金繰入額	812	935
差引売上総利益	661,063	1,069,430
販売費及び一般管理費	682,169	936,522
営業利益又は営業損失(△)	△21,106	132,907
営業外収益		
受取利息	128	128
為替差益	1,032	-
受取手数料	-	1,588
その他	72	1,389
営業外収益合計	1,233	3,106
営業外費用		
支払利息	2,165	9,653
その他	245	3,517
営業外費用合計	2,411	13,170
経常利益又は経常損失(△)	△22,283	122,843
特別利益		
新株予約権戻入益	-	1,080
特別利益合計	-	1,080
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△22,283	123,923
法人税、住民税及び事業税	2,236	63,609
法人税等調整額	826	19,951
法人税等合計	3,063	83,560
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△25,347	40,362
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半期純損失(△)	△25,347	40,362

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△25,347	40,362
四半期包括利益	△25,347	40,362
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△25,347	40,362
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△22,283	123,923
減価償却費	5,795	27,446
のれん償却額	18,628	28,901
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△145	84,477
賞与引当金の増減額(△は減少)	△624	△1,181
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△455	△647
株主優待引当金の増減額(△は減少)	△2,546	△10,826
受取利息及び受取配当金	△128	△128
支払利息	2,165	9,653
新株予約権戻入益	-	△1,080
売上債権の増減額(△は増加)	32,078	△230,342
たな卸資産の増減額(△は増加)	4,112	△31,563
仕入債務の増減額(△は減少)	△40,398	108,868
その他	△1,012	61,019
小計	△4,815	168,519
利息及び配当金の受取額	150	128
利息の支払額	△2,115	△9,617
法人税等の支払額	△5,965	△18,109
営業活動によるキャッシュ・フロー	△12,746	140,921
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△599	△9,445
無形固定資産の取得による支出	△720	△1,180
敷金の回収による収入	-	17,470
その他	△29	△298
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,349	6,547
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	-	120,000
長期借入れによる収入	54,000	50,000
長期借入金の返済による支出	△30,249	△67,249
リース債務の返済による支出	△461	△360
その他	△222	△161
財務活動によるキャッシュ・フロー	23,067	102,228
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,032	△1,391
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	10,002	248,306
現金及び現金同等物の期首残高	836,859	724,983
現金及び現金同等物の四半期末残高	846,862	973,289

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	コミュニケーション・セ ールズ事業	化粧品 卸事業	カラーコンタク トレンズ事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	902,533	299,717	1,281,180	2,483,431	—	2,483,431
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	498	—	498	△498	—
計	902,533	300,216	1,281,180	2,483,930	△498	2,483,431
セグメント利益又は損失 (△)	64,451	109,196	△41,624	132,023	884	132,907

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	132,023
全社収益 (注) 1	75,200
全社費用 (注) 2	△76,363
その他の調整額	2,047
四半期連結損益計算書の営業利益	132,907

(注) 1. 全社収益は、当社におけるグループ会社からの経営指導料であります。

2. 全社費用は、当社における持株会社運営に係る費用であります。

3. 報告セグメントの変更に関する事項

当社グループは、前第2四半期連結累計期間においては、「コミュニケーション・セールズ事業」の単一セグメントでありましたが、新規の子会社である株式会社C u r eが平成27年7月1日付で事業を譲り受けたことに伴い、「化粧品卸事業」を報告セグメントに追加し、さらに平成27年8月1日付でクレイトン・ダイナミクス株式会社を株式交換により連結子会社としたことから「カラーコンタクトレンズ事業」を報告セグメントに追加しました。これにより、前連結会計年度より、当社グループの報告セグメントは、「コミュニケーション・セールズ事業」、「化粧品卸事業」及び「カラーコンタクトレンズ事業」の3つの報告セグメントとなりました。